



小高区4小学校
No.13
H31.2.12

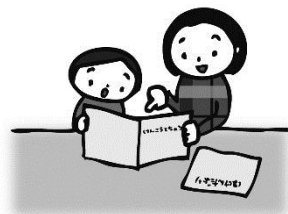
2月の保健目標
心の健康を
考えよう

立春が過ぎ、暦の上では春となりましたが、まだまだ寒い日が続いています。この冬のインフルエンザ罹患者は推計で約222万人といわれ、福島県でも警報レベルを超えています。本校では今現在感染している児童はいませんが、これから流行する可能性も大きくありますので、引き続き体調管理にご留意ください。

1年間のお子さんの成長をご確認ください

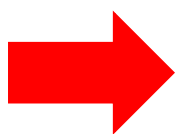
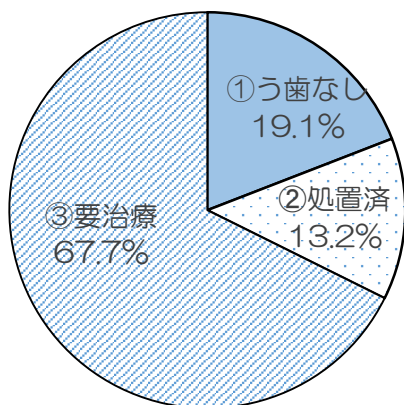
保健室から、「個人ファイル」を本日配付致しました。個人ファイルの左側には健康の記録をファイリングしてあります。1年間の身体測定結果をお知らせ致しますので、お子さんの成長をご確認ください。また、冬休み明けの個別保健指導の際に、お子さんが1年間の成長や生活の振り返りを記入しました。学校からのコメントも記載しましたので、お読みください。

右側には今までの夏休み・冬休み生活チェックシートと、冬休み前に行った運動不足度チェックをファイリングしてありますのでご覧ください。

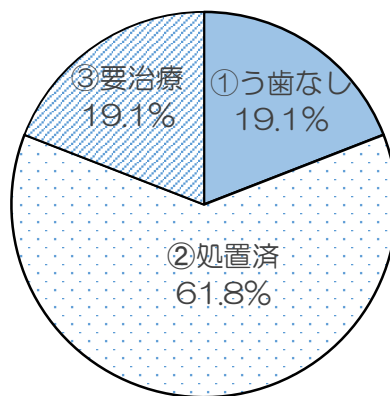


むし歯の治療状況

歯科検診時のむし歯治療状況



1月末現在のむし歯治療状況



歯科検診時に、むし歯の治療が必要と診断された児童46名(67.7%)のうち、33名は治療が完了し、処置済が13.2%から61.8%(1月末日現在)となりました。(昨年度の同時期は40%)小高区内に歯科医が開業して、通いやすくなった人もいたと思います。

まだ13名(19.1%)の児童が治療中または未治療となっています。今年度だけでなく、過年度も治療に通われていないとなると、何年もむし歯を放置していることになってしまいます。お子さんの口の中の様子を見ていただき、受診をご検討くださるようお願い致します。



第2回地域学校保健委員会を開催しました

2月4日(月)に小高中学校にて、第2回小高区地域学校保健委員会を開催しました。ご参加いただきました、PTA 役員・厚生委員会の保護者の皆様ありがとうございました。

今回は、「小中学生の心の問題について」の演題で、相馬市にある「メンタルクリニックなごみ」で臨床心理士をされている、須藤康宏先生から、愛着障害を中心にご講演をいただきました。詳しい内容につきましては後日、地域学校保健委員会だよりでお知らせ致します。

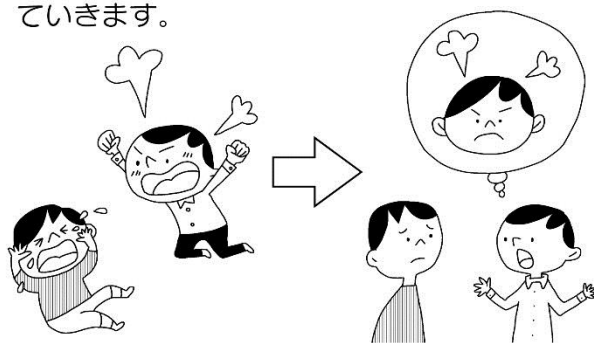
子どもの心の発達

「心」の発達

「心」は「感情」、「思考力」、「社会性」などがそれぞれ関わり合って発達していきます。これらの働きは、脳の中で行われていると考えられます。

■感情の発達

小さいころは感情をおさえられずに、泣いたり、おこったりしていたのが、成長する中で、感情をコントロールできるようになっていきます。



■思考力の発達

成長する中で、学習や経験を通して、話す力や聞く力、考える力が発達します。

■社会性の発達

私たちは、成長するにつれて、相手を理解し、協力することや、きまりを守ることができるようになります。



心の発達とともに、「がまんできるようになった」「自分の気持ちを話せるようになった」「友達や家族と協力できるようになった」…などたくさんのできることが増えていきます。そして、「周りから認められたい」という気持ちも出てきます。お子さんのその日学校であったこと、思っていることや悩んでいることに耳を傾け、「そうだったんだね。」という共感的な言葉や、「頑張ったね、えらかったね。」という肯定的な言葉をかけることで、子どもにとって「認められた」という思いが満たされていきます。

おうちの方と遊びや家事のお手伝いなどで一緒に活動することもコミュニケーションをとり、ふれあう時間になりますね。

